

虹の会 だより



日毎に秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。
これからの季節は風邪やインフルエンザなど流行りだしてきます。
手洗い・うがいなどの予防に取り組みましょう！



【 第53回 虹の会のつどいから 】

今回の虹の会では、近況報告やプラズマローゲンを実際に使用している方の現状報告、
賀久先生による東洋医学の「五臓六腑」のお話しなど、様々な話題がとびかいました。
「今日も楽しかった。」「皆様思いを正直に打ち明けられていて大切な場所だと感じました。」
という、皆さんの言葉に改めて虹の会の大切さを感じました。

感想カードより



- 入所された方の家族の思いは皆一緒だなあと感じました。やはり共通の経験がある人でないと理解できませんね。何時まで続くか分かりませんが皆で頑張りましょう！
- 2ヶ月に1度の会ですが、来るとほっとします。みなさん施設に預けていらっしゃるようですがやはり本人のことを一番心配しているのがわかります。
- いつもアットホームなこの自由におしゃべりできる雰囲気が最高です。
- 皆さんそれぞれ症状が進み大変だと思う。月日のたつのが早く感じます。自分がいつまで元気いることが出来るかが不安になります。
- 東洋医学の話をして初めて聞いて、アルツハイマーに対する気持ちが変わったような気がする。
- 久しぶりに参加させていただきました。家族の方が苦労しておられるのに明るく交流しておられる姿に感動します。ありがとうございました。
- 今月特別養護老人ホームに入居が決まりました。寂しくなりますがマイペースで生活していこうと思っています。出来るだけ数多く面会に行くことにしています。
- 現状や施設に対する思いなど沢山知ることが出来ました。施設現場の質が向上するといいなあと強く願います。
- 施設に預ける前、入所後、家族の気持ちをしっかり尋ねる事が大切かと思いました。



便利グッズのご案内



家族がもう一度、笑顔で暮らすために。「ヒトココ」はじめよう！

認知症老人徘徊感知機器「ヒトココ」が開発されました。様々な地域施設に広がりつつあります。「ヒトココ」は親機1台と子機のセットで使います。親機を介護家族が持っていれば、子機を持っている高齢者が外出しようとする地点で親機に通知します。又、外出時も距離を設定していれば、はぐれてもすぐにわかります。「ヒトココ」があれば、お出かけを楽しむことができるようになります、もっと自由に行動できるようになります。



ヒトココ三大特徴



特徴① 小さくて軽量。子供でも負担なく持てます。



特徴② 広い通信距離。広い「面」で搜索可能。

特徴③ 驚きの長寿命。3ヶ月間つけっぱなしでOK！

充電式で最大 500 回の充電が可能。(電池寿命3ヶ月)



↑ 専用のお守り袋に入れて、「21世紀のお守り」に。



オアシス虹の会を振り返って

中島 七海

平成18年9月3日、第1回目の「若年認知症の会」を開催。参加者は5組のご夫婦と山田先生、天神オアシスクラブの職員、ボランティアの15名から始まりました。この会で何がしたい？すると「陶芸がしたい」。第2回目は陶芸の先生に来て頂きコーヒーカップなどを四苦八苦しながら作りました。「オアシス虹の会」の名称は第2回目に皆さんと話し合いながら決まりました。それから皆さんと話し合いながら、山田先生を交えての勉強会、相談会、季節が良い時は観光バスを借り切ったの日帰り旅行、食事会などその時々、楽しく過ごしてきました。ご本人が参加できなくなりましたが思い出はいっぱいです。当時からこれまでを振り返ってみて思うことは、ご家族同士の絆が深くなり、介護を続ける中であっても互いに思いあう心が通じている気がします。「認知症」という病気を受け入れることが出来なかった時期、その頃はご本人と同じようにご家族も苦しみ、悲しみ、怒り、途方に暮れていたことでしょう。仲間に出会うことで何かを直接してもらえとかではないけど、同じ境遇で話ができることが「また、頑張ろうになる」の言葉に、サポートする私たちも元気を頂き、この会に出会ったことをありがたく思うのは私だけではないと思います。9年前の今頃は若年認知症の理解は殆どありませんでした。今年1月、国は「若年認知症施策の強化」を重要課題とし、自治体が動き出しています。全国の組織に入り改善の声をこれからも伝え続けて行きたいと思います。来年も皆さんとの出会いを楽しみに今年1年を締めくくりたいと思います。

次回の虹の会は11月8日（日）です。